

気づいちゃった補足説明 (No.2)

2025年2月23日公開開始

○皆様が第一霊となって、霊界と物質界の宇宙を創造するときは、「現在、完全死しているすべての霊体を必ず第一霊レベルに導くのだ」という強い決意が必要です。

同じように、(第一霊として) 地上に降誕するときは、「地上のすべての争いに終止符を打たせ、そして、すべての人^{じんれい}霊(人類)を第一霊レベルに導くため、いかなる困難にも耐える」強い覚悟が必要です。

しかし、地上に降り立ったとき、一人の人間の霊力のみでは、この使命・目的を果^はたせるはずがないので、霊界の全霊体の協力を仰^{あお}がねばなりません。そのため、霊界にいたときから、全霊体には、分け隔^{へだ}てなく親切に愛をもって接し、全霊体から満幅の信頼を得ておく必要があります。私は、この信頼を得るため数兆年を要しました。何が言いたいかと言いますと、皆様が第一霊として地上に降誕したとき、霊界の全霊体に協力してもらえるように、今から、全霊体に分け隔^{へだ}てなく親切に愛をもって接することが大切です。

○どのようにして、すべての霊体を第一霊レベルに導くのか？ どのようにして地上のすべての争いに終止符を打たせるのか？ その方法を、誰もが読んで理解・納得できる書面に残すことが第一霊の使命の1つです。その書面が未来の第一霊たちの道^{みち}標^{しるべ}となります。

○皆様、銀河霊たちが地上に降誕した目的は、「①真理と摂理に無知だった時期に、類魂たちが地上で犯した罪を(代わりに)償うため」と、「②可能な限り、争いに終止符を打たせて、平和で平等で調和と秩序のとれた地上天国を創るため」です。

○気づいちゃった補足説明（No.1）で、次のように書いた箇所があります。

*

銀河霊たちが、罪を償い合うことにした、（正確には、罪を償い合うことにしなければならなかった）根本的理由があります。

それは、人類が歩んできた歴史が物語っているように、銀河霊たちが、真理と摂理の働きに関して無知な世界（地球）に、^{じんれい}人霊レベルで降誕したとき、食糧難の状況を乗り切るため、あるいは安定した食糧を確保するため、他の人（霊）たちと生死（命）を懸けて戦うことになり、その結果、多くの人たちを傷つけたり、^{だま}騙したり、^{あや}殺めたりすることになりました。

一方、銀河霊たちには、宇宙の創造方法を徐々に学んでもらうと言う、創造主が課した使命があるため、霊界の銀河霊たちから、地上の銀河霊（人類）に、高度な文明が徐々に送信されることになりました。すると、高度に進化した^{さつりくへいき}殺戮兵器が製造されるようになり、一人の人間が、数万人、数千人を、一瞬で殺めることが可能になってしまいました。この人間を仮に A 国の A さんとしますと、A さんが、自分の国、家族、親族、友人等々の生活を守るため、敵と認識してしまった、周辺の善良な C 国、部族等々の人々数万人の命を、B さんに命じて、奪った場合、A さんと B さん、さらに、A さんと B さんの行為に賛同した A 国民は、真理と摂理の働きにより、罪の報いを受けることになります。

では、どれほどの罪の報いとなるのか？

結論から言うと、A 国民の利益を得るためとは言え、C 国民の命と財産と子どもたちの希望・未来を奪い、耐え^{がた}難い苦しみを与えた A さんは、銀河霊から^{いっき}一気に動物霊～想念レベル、B さんは人霊～物質

レベル、A 国民は、恒星霊～植物霊レベルの霊体に落ち、その世界・霊界から、心の修行をやり直すこととなります。

人類は、このような戦争を幾つも繰り返しておりますので、自身が犯した罪を、自身で償っていたのでは、戦争のたびに、多くの地上の銀河霊たちが、動物霊～想念の世界に落ちてしまいますから、他の類魂（銀河霊）たちと罪を償い合わないと、全銀河霊が、なかなか宇宙霊や第一霊の上位霊界に入れられないからです。

ただし、AさんとBさんとA国民は、当然、他の銀河霊よりも多くの報い（天罰）を受けることとなります。

*

と。

皆様（＝銀河霊全体）の霊格・霊力を著しく下げている根本的な原因は、高度に進化した殺戮兵器を用いた戦争です。

だから、これらの戦争（できれば、地上で起きているすべての争い）に、終止符が打てれば、皆様の霊格・霊力低下の主原因が可能な限り除かれます。そうなれば、皆様（＝銀河霊全体）の霊格・霊力が加速度的に向上し、地上は、あつと言う間に、高度な文明と成熟した社会が形成された（地上）天国となるのです。

なので、私は、地上で起きているすべての争いに終止符を打たせたいと思い「虹の掛け橋」を書いております。言い方を変えると、地上で起きているすべての争いを止めないと、全霊体の霊格・霊体の進化が停滞した状態になってしまうため、何人も第一霊体に導くことができないのです。

皆様銀河霊の使命も、1つ上の「○^{うんぬん}云々」で述べたとおり同じです。

ですから、共にすべての争い（特に、高度に進化した殺戮兵器を用

いた戦争)を止めましょう。

無理をせずに、余暇を楽しみながら。つまり、「何とかの掛け橋」を世界中に広めて、選挙による、圧倒的な多数決で。

子どもたちに、銀河霊界と銀河霊体の未来をプレゼントするため
に。

天女たち キャー！ 素敵な言葉。いつでも呼んでね、カラオケ代払ってあげるから。

私 は一い。

五霊たち ♪「え？・・・そっちに変わったの？・・・いいな、いいなーあ！」♪

ネイム ♪「え？・・・え？ どっち？」♪

私と五霊たちと天女たち ♪「えーえ！」♪

.....

.....

.....

私 私の定番の決まり文句。

これらも、どのような世界・未来を創造するかは、皆様の自由意思です。私は、皆様が高度に進化した殺戮兵器を用いた戦争によって絶滅することがないように、理由・説明を付しながら、^{しゅくしゅく} 粛々と真理の道を示すだけです。

ただ、皆様が絶滅したとき、「第6巻」で述べたとおり、皆様には、「恒星霊たち」(場合によっては^{プラス}「惑星霊たち」)と協力して1人の3代目第一霊を目指す道が用意されていることと、皆様には1兆の1兆乗年よりも長い寿命がありますので、「絶滅=終わり」と深刻に考えないことです。深刻に考え過ぎると、たとえば、「何とかの

掛け橋」を読んでいない人や、戦争に参加している（参加しようとしている）兵士等を、嫌ったり攻撃したりする世界を創造してしまう危険があり、このような世界も、息苦しい反真理的世界だからです。

釈迦君の言葉を借りれば、「♪両極は避けて中道がいいかもね♪」ですね。

五霊たちと天女たち ♪「とは言っても、「何とかの掛け橋」を広め、戦争等の争いに終止符を打って、地上天国を創り、子供たちに銀河霊界と銀河霊体の未来をプレゼントし、私たち銀河霊だけで1人の3代目第一霊を目指したいですわ」♪

阿弥陀あみだと閻魔えんまとゼウス ♪「そうだ、そうだ、そっちの方が絶対にいいよ」♪

ネイム ♪「え？・・・え？ どっち？」♪

五霊たちと天女たち ♪「えーえ！ またーあ！ ネイム先生 そのフレーズ好きですわねーえ！」♪

ネイム ♪「それは違います。著者たかぼうが好きなのでーす」♪

五霊たちと天女たち ♪「確かに」♪